

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

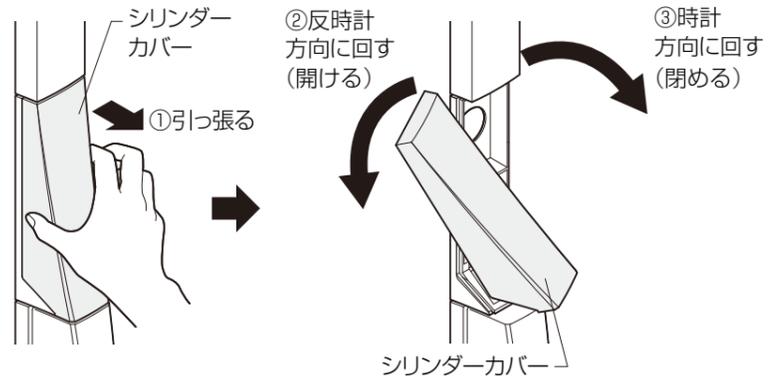
■部品取付け順序

【玄関ドア「アヴァントス」ストリームハンドルタイプの場合】

1 シリンダーカバーの開閉方法

●シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は引っ張りながら時計方向に回転させて閉じてください。

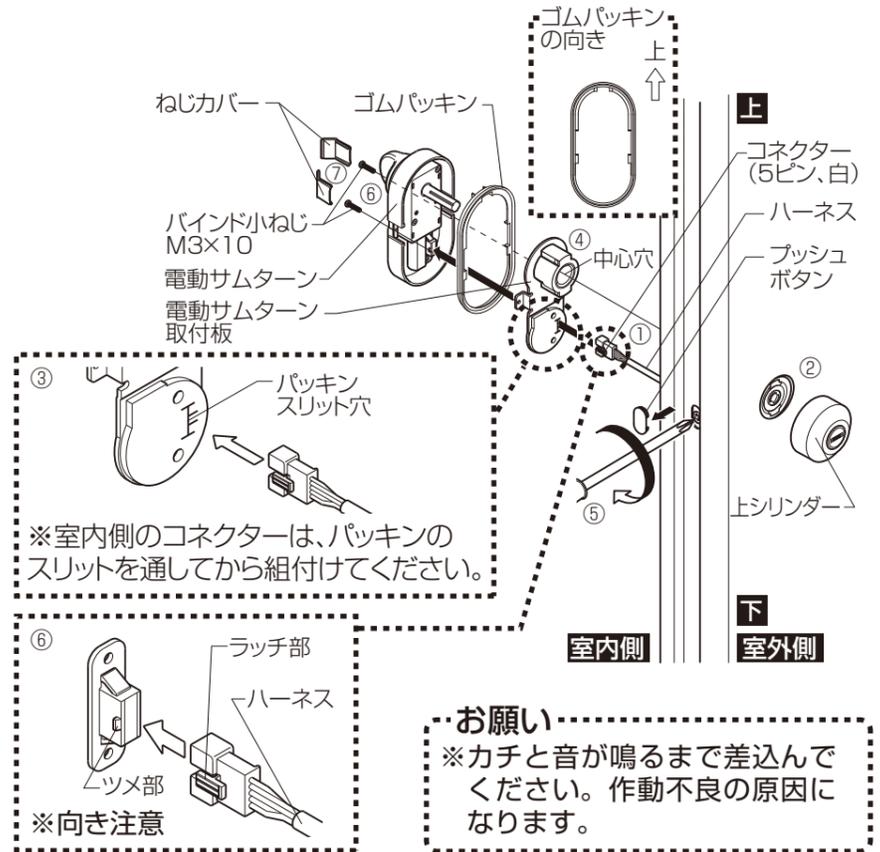
※ストリームハンドルタイプの場合は、上下のシリンダーカバーを開けた状態で、下図と同様に取付けを行ってください。



【CAZASの場合】

2-1 上シリンダー、電動サムターンの取付け

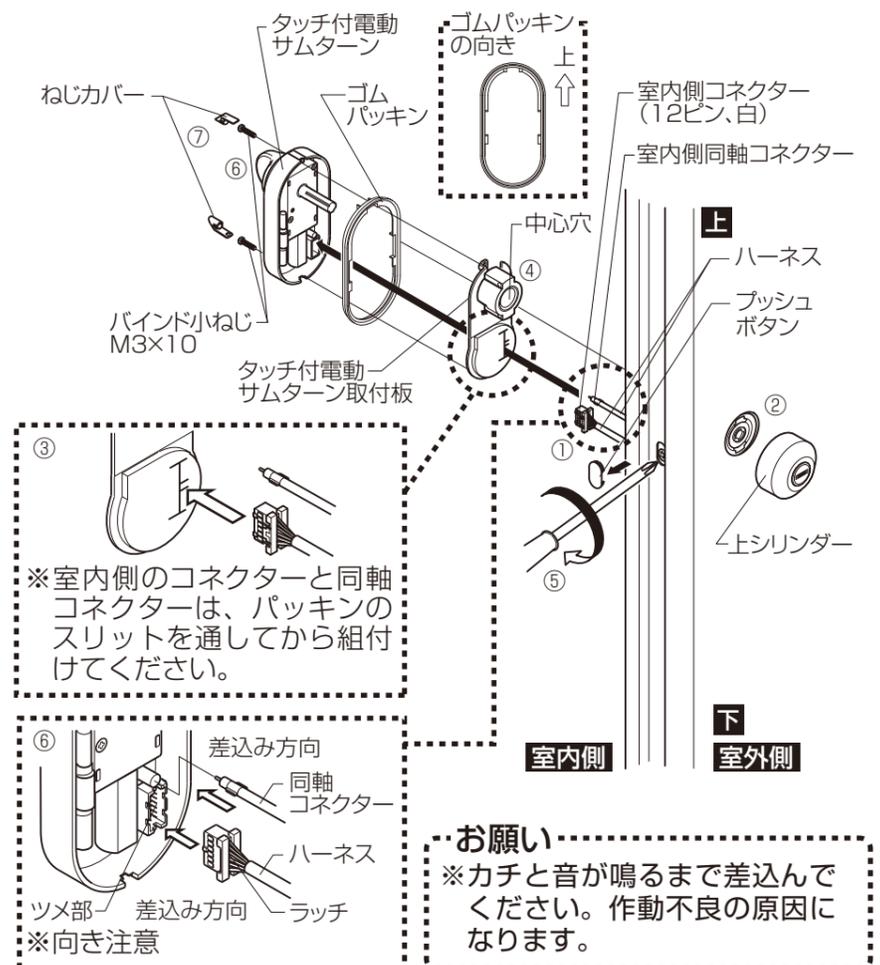
- ① ドアから8cm以上ハーネスを引き出してください。
- ② 上側シリンダーをリクシルマークを上にして上錠ケースの丸穴に合わせて差し込み、保持します。
- ③ ドアから引き出した「室内側」とタグのついたハーネスをあらかじめ電動サムターン取付板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④ 電動サムターン取付板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせて差し込み、保持します。  
※この時シリンダーと電動サムターン取付板がしっかりと奥まで挿入され、斜めになっていないことを確認してください。
- ⑤ 扉エッジ面にあるプッシュボタンを外し、固定用ねじを時計方向に止まるまで回して固定します。(約8回転)固定したらプッシュボタンを元に戻します。  
※このねじを回すことにより内部で固定ピンが移動し、シリンダーと取付板が固定されます。
- ⑥ 電動サムターンにハーネスのコネクター1本を向きを合わせてしっかりと差し込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。  
※この時ゴムパッキンを向きに注意して電動サムターンに取付けておいてください。
- ⑦ バインド小ねじの上にねじカバー(2カ所)を取付けます。



【簡易タッチ、タッチ/ノータッチの場合】

2-2 上シリンダー、電動サムターンの取付け

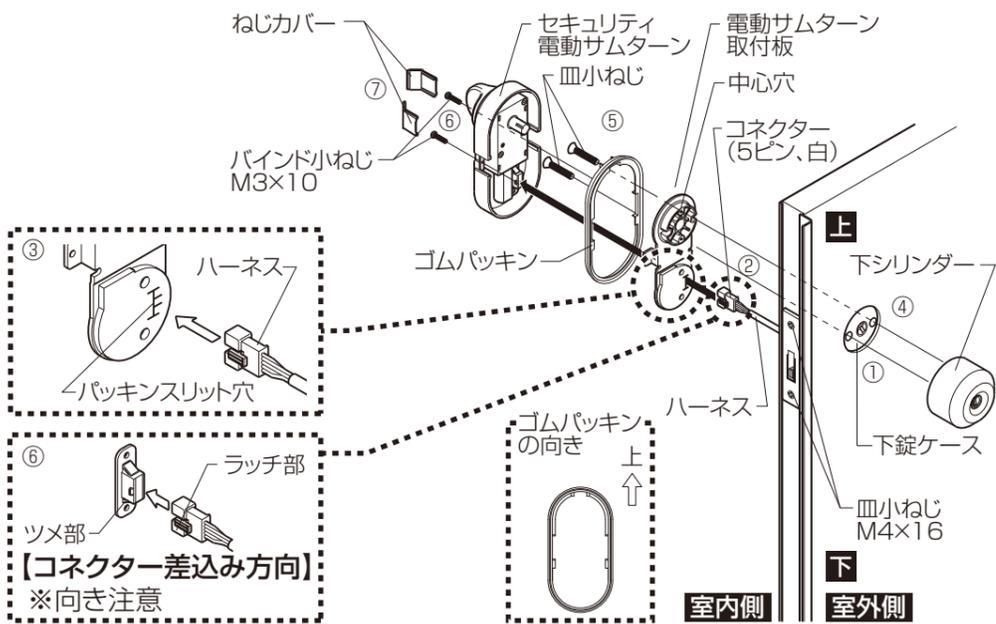
- ① ドアから8cm以上ハーネスを引き出してください。
- ② 上側シリンダーをリクシルマークを上にして上錠ケースの丸穴に合わせて差し込み、保持します。
- ③ ドアから引き出した「室内側」とタグのついたハーネスをあらかじめ電動サムターン取付板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④ タッチ付電動サムターン取付板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせて差し込み、保持します。  
※この時シリンダーとタッチ付電動サムターン取付板がしっかりと奥まで挿入され、斜めになっていないことを確認してください。
- ⑤ 扉エッジ面にあるプッシュボタンを外し、固定用ねじを時計方向に止まるまで回して固定します。(約8回転)固定したらプッシュボタンを元に戻します。  
※このねじを回すことにより内部で固定ピンが移動し、シリンダーと取付板が固定されます。
- ⑥ タッチ付電動サムターンにハーネスのコネクター2本を向きを合わせてしっかりと差し込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。  
※この時ゴムパッキンを向きに注意してあらかじめ電動サムターンに取付けておいてください。
- ⑦ バインド小ねじの上にねじカバー(2カ所)を取付けます。



**【CAZAS、簡易タッチ、タッチ/ノータッチ共通】**

**■下シリンダー、セキュリティ電動サムターンの取付け**

- ①皿小ねじで下錠ケースを取付けます。
  - ②ドアから8cm以上ハーネスを引き出してください。
  - ③ドアから引き出した「室内側」とタグのついたハーネスをあらかじめ電動サムターン取付板のパッキンスリット穴に通しておきます。
  - ④下シリンダーを、下錠ケースの丸穴に合わせて保持します。
  - ⑤電動サムターン取付板の中心の穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで下シリンダーを取付けます。
  - ⑥セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターを差込み、サムターンつまみを縦に向け電動サムターン取付板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
- ※この時ゴムパッキンを向きに注意して電動サムターンに取付けておいてください。
- ⑦バインド小ねじの上からねじカバー(2カ所)を取付けます。



**■電動サムターンのポイント(クラッチ外れ現象について)**

●電動サムターンを使用していると、手でサムターンを回したときに「カチ、カチ」という音と共に引っ掛かり、操作が重くなる場合があります。これは動作中に負荷が発生し、保護用のクラッチが働き外れた為でサムターンの故障ではありません。負荷の原因を取除き(3/4■ストライクの調整 参照)再度サムターンを電動で動作させると元に戻ります。



**■電池の入れ方**

**【CAZAS、簡易タッチの場合】**

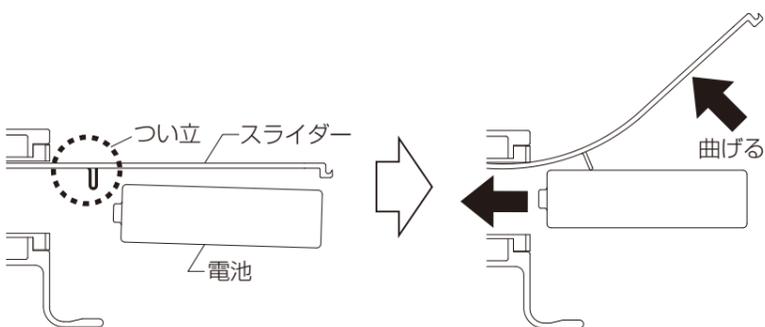
- ①受信器中央の取付けねじをゆるめ、カバーを外してください。
- ②スライダを引出します。
- ③表示にしたがい、(+)(-)を合わせて、電池をスライダとともに挿入してください。
- ④カバーの下部を引っ掛け、ねじ止めしてください。

**■電池交換について**

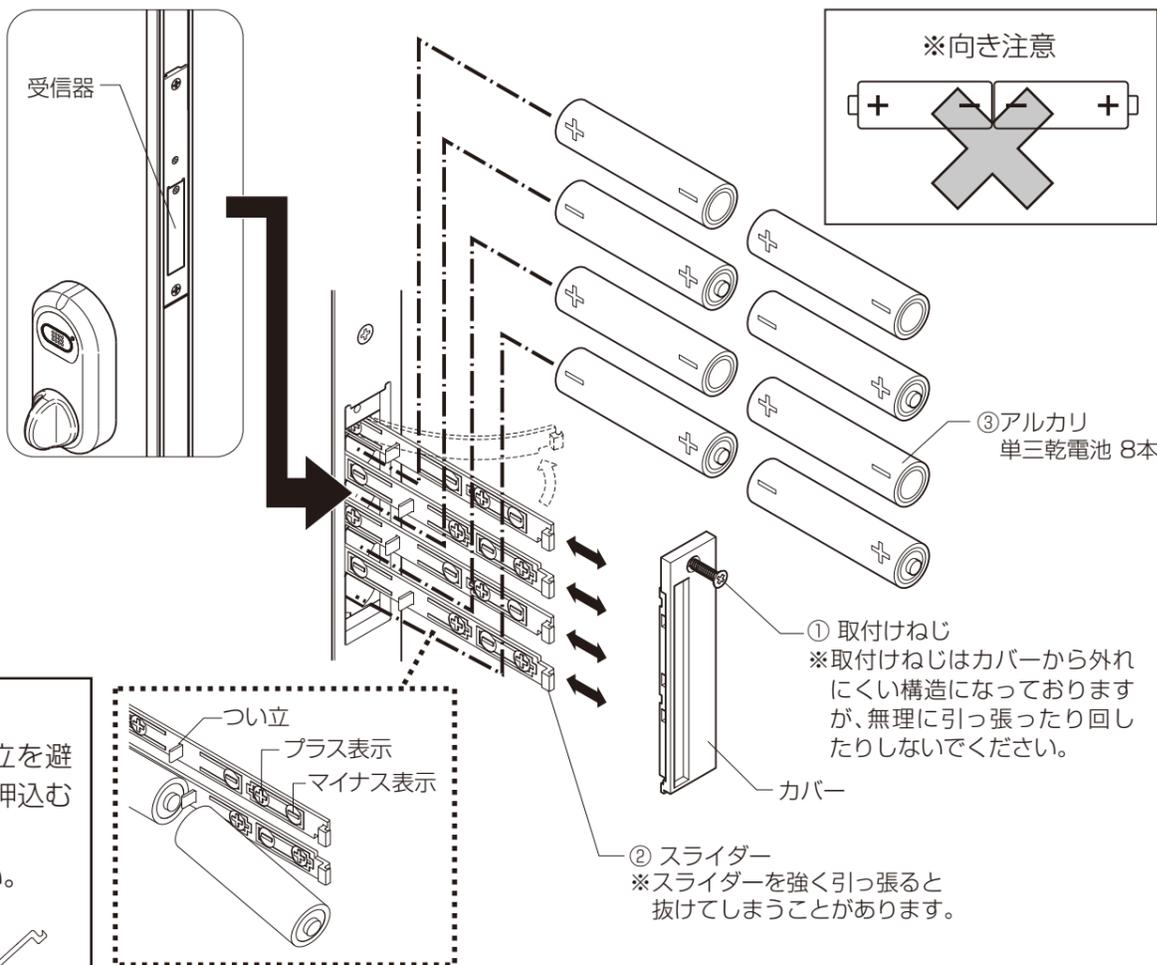
- 受信器の電池寿命は約1年です。
  - 次のような場合は、電池の交換時期です。
    - ・施錠、解錠時にピー音が5回鳴る。
    - ・サムターンの回転速度が極端に遅くなる。
- ※電池交換時期となりましたら8本の電池を全て交換してください。電池寿命になると、電動で施錠、解錠できなくなるだけでなく、クラッチ外れ同様にサムターンが固くなり、手でも回しにくくなる事があります。

**■電池を入れる時のお願い**

- 電池を入れる際は、スライダを少し曲げながらつい立を避けて入れてください。スライダを引出さずに電池を押し込むとつい立が変形し、作動不良の原因になります。
- ※つい立を変形させた場合は元に戻して使用してください。



- つい立は、電池を入れ間違った時の液漏れ防止の為に付いています。

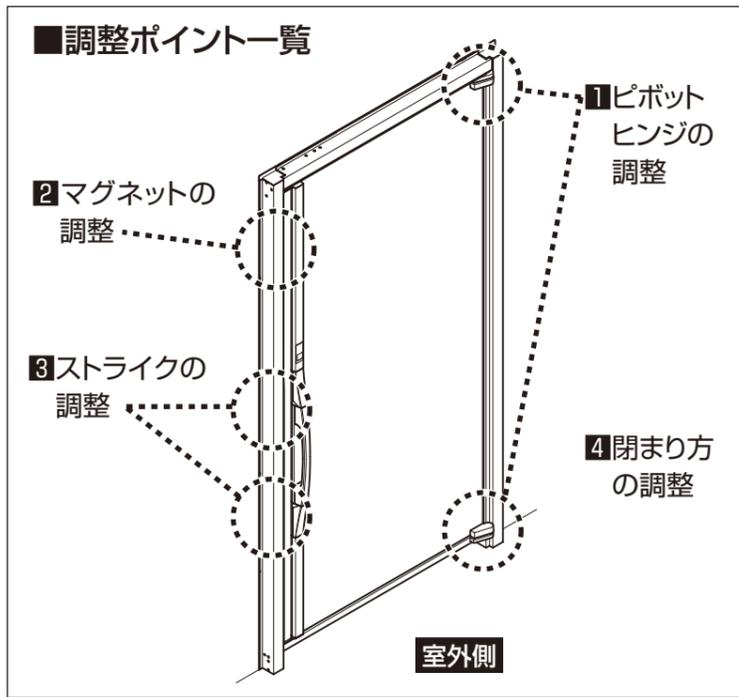


**■CAZAS/簡易タッチキーシステムの電池に関する注意事項**

- CAZAS/簡易タッチキーシステムはDC6V(電池4本分)で動いていますが、電池の交換頻度を少なくする為、乾電池8本の仕様になっております。上二段又は下二段の電池4本が正しく入っていれば作動しますが、他の4本の入れ間違えや入れ忘れに気づかないおそれがありますので、電池交換の際は十分ご注意ください。
- 本製品は電池を外す前の状態を記憶している為、電池を入れ、扉を閉めると意図せず自動施錠する場合がありますので電池を外す際は、手でサムターンを解錠し、自動施錠しない状態から行ってください。
- 工場出荷時の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。

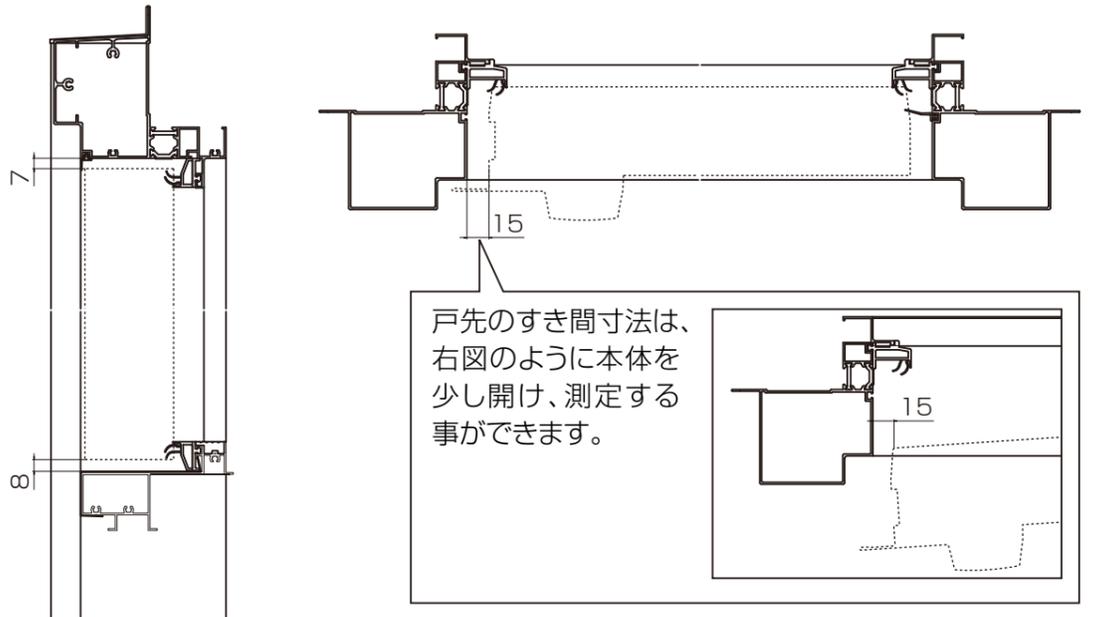
**■建付け調整方法について**

枠の取付け、ドア建て込み後は必ず建付け状態を確認し、調整を行ってください。  
電気錠の場合は、適切に調整を行わないと作動不良が起こりやすくなります。



**1 ピボットヒンジの調整(枠と本体のすきま調整)**

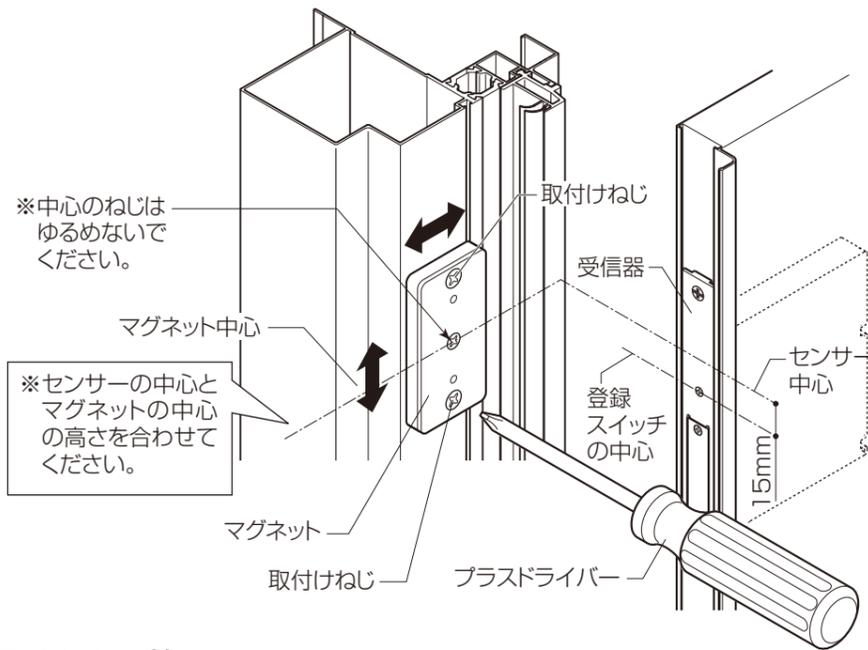
枠と本体(又は子扉)のすき間が納まり図の通りになるようにピボットヒンジを調整してください。  
※ピボットヒンジの調整方法は、枠に同梱されている取付け説明書をご確認ください。



**2 マグネットの調整方法**

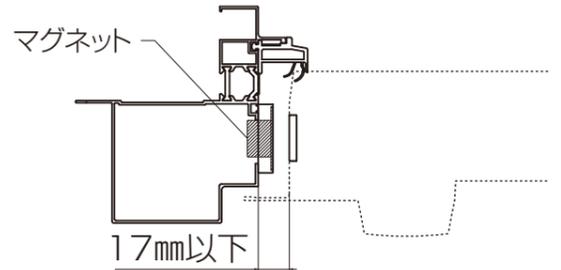
枠(子扉)についているマグネットを調整し、受信器のマグネットセンサーの中心とマグネットの中心を合わせてください。  
中心がずれていると、施錠できないなどの作動不良が起こるおそれがあります。

●マグネットの取付けねじをゆるめる(1~2回まわす)と内外方向、上下方向にマグネットを調整できます。調整後は、ゆるめた取付けねじを締付け固定します。



**お願い**

※ドア本体と枠(子扉)のすき間は、17mm以下にしてください。マグネットの磁力が足りず、動作不良が起こったり、デッドボルトの鎌部分がストライクに引っ掛かり、施錠、解錠ができません。

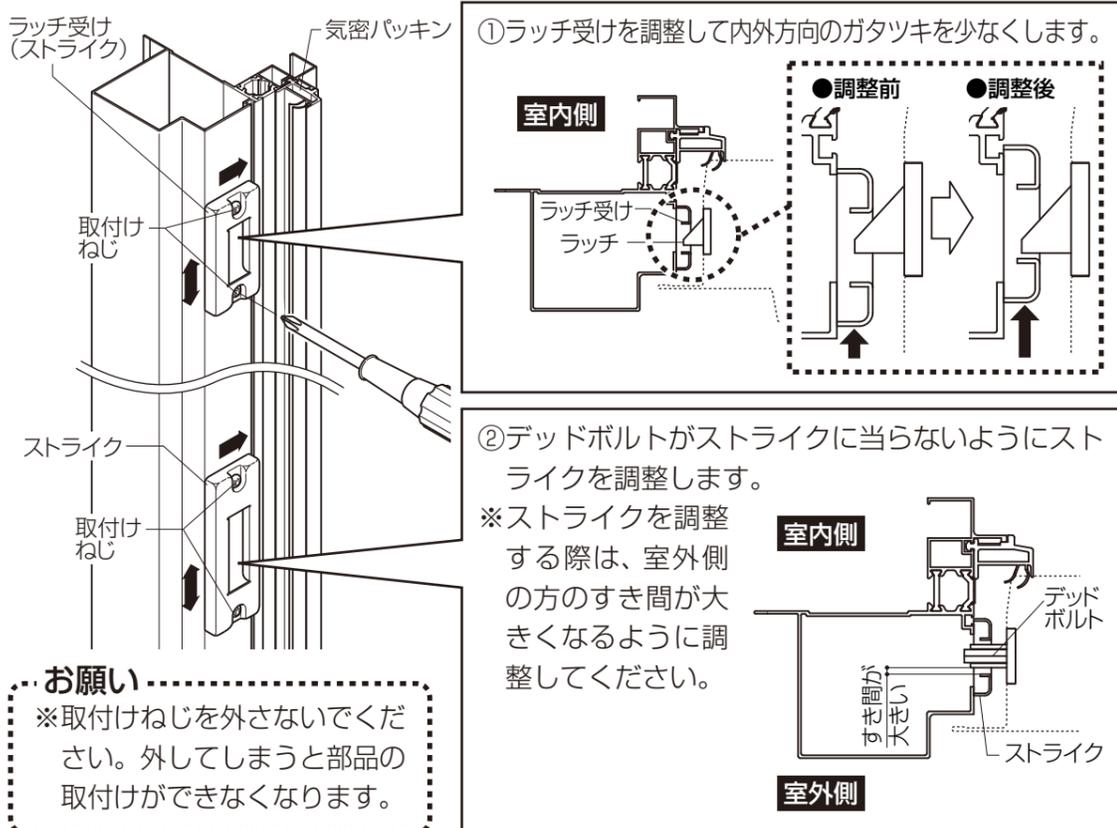


※取付けねじを外さないでください。外してしまうと部品の取付けができなくなります。

**3 ストライクの調整**

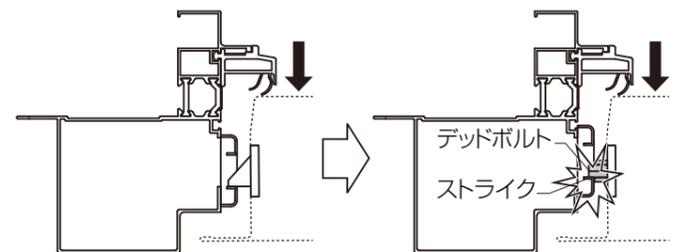
ドア本体が風に押されたりしてもデッドボルトがストライクに当たらないようにラッチ受けとストライクを調整してください。

●ストライクの取付けねじをゆるめる(1~2回まわす)と内外方向、上下方向にストライクを調整できます。調整後は、ゆるめた取付けねじを締付け固定します。

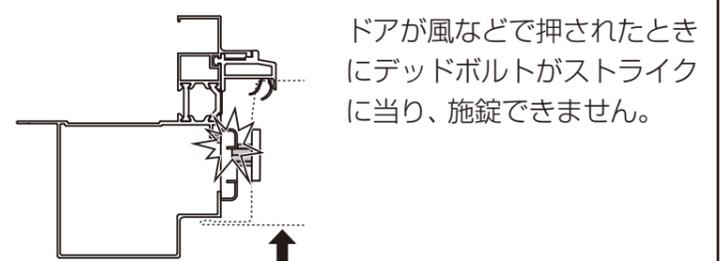


**■調整を行わなかった場合について**

●ラッチ受けの調整を行わなかった場合



●ストライクの調整を行わなかった場合

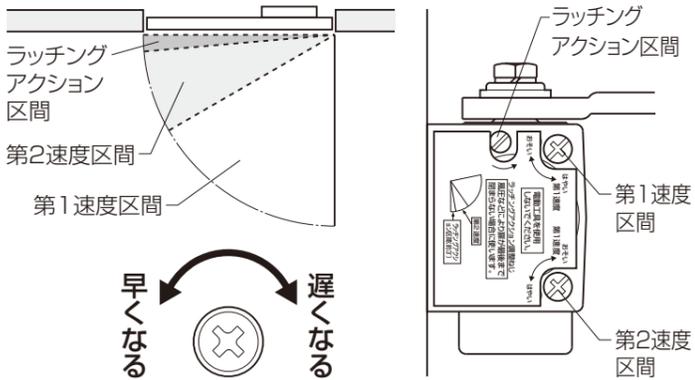


#### 4 ドア本体の閉まり方調整

扉がドアクローザーで確実に閉まるように、クローザーの速度やピボットヒンジを調整し気密パッキンの当たりを変えてください。閉速度が遅すぎて扉が閉まりきらない場合、自動施錠されないなどの作動不良が起こるおそれがあります。

##### ●ドアクローザーの調整

- ・閉速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。(調整ねじは吊元側側面にあります。)
- ・適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。



##### ■ラッチングアクションとは

ドアが閉鎖位置直前(約3°)まで来た時点でドアを素早く閉める機能です。電気錠の場合、ドアが閉まりきらないと自動施錠されません。ドアの建付け状態などが原因でドアが閉まりきらない場合は、ラッチングアクション調整ねじも調整してください。

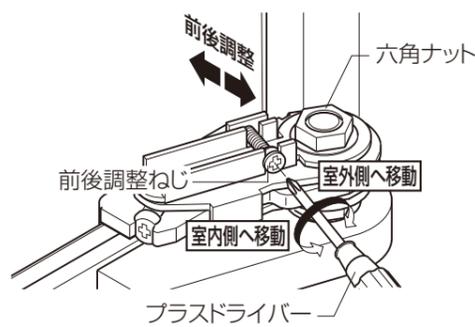
##### ●気密パッキンとの当たりの調整

ドア本体と気密パッキンの当たりが強く、ドアが閉まりにくい場合は、ピボットヒンジを調整してドア自体を室外に出す事で改善されます。(断熱ドアの熱ソリによる作動不良にも効果があります。)

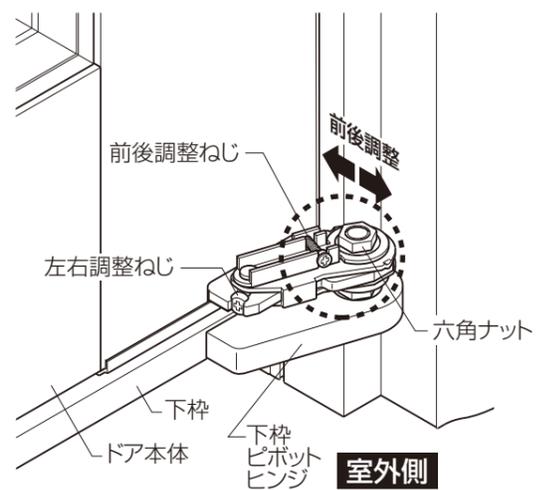
- ① ドア上部ピボットヒンジ・ドア下部ピボットヒンジのうち、調整したい方のピボットヒンジカバーを取外します。
- ② 六角ナットを調整スパナでゆるめめます。
- ③ 下図にしたがって調整ねじを回します。
- ④ 調整後、六角ナットを確実に締め、カバーを取付けます。

##### ■前後調整ねじ

- 右に回すとドア本体が室内側に移動し、左に回すと室外側に移動します。(調整幅±3mm)

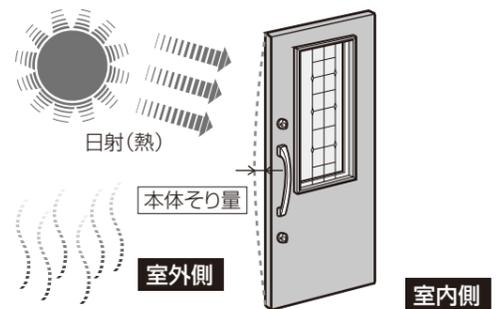


**お願い**  
 ※調整ねじは、調整幅以上回さないでください。故障の原因となります。  
 ※左右、前後を同時に調整した場合は、±3mm調整出来ない場合があります。  
 ※調整幅いっぱいまで調整を行うと通電金具が接触する場合があります、ドアが閉まらないおそれがあります。



##### ■断熱ドアの熱ソリについて

- 断熱ドアは室内外に熱を伝えにくい構造であるため、直接日差しがあたり室内外の温度差が大きくなる場合、ドアの本体にソリが発生することがあります。(最大ソリ発生量は4～5mm) このソリは、日差しの角度が変わり、表面の温度差が小さくなると元に戻るのですが、熱ソリが発生するとドアが閉まりにくくなり、電気錠の作動不良につながります。直接日差しが当たる場合は建付け調整時に注意してください。



#### ■故障かな・・・と思った時に

##### 【タッチ/ノータッチ・簡易タッチキー・CAZAS 共通事項】

確認ポイント	考えられる原因	対策
1.扉を閉めサムターンツマミおよびカギの操作により施錠/解錠すると重い	YES 扉の錠受け(ストライク)の取付けがずれています。	ストライクの位置を調整してください。(3/4 ■ストライクの調整 参照)
2.カードキー、タグキーもしくは専用リモコンを使って扉の施錠/解錠を行うことができない	YES カードキー、タグキーまたは専用リモコンが登録されていないか専用リモコンの電源がOFFになっています。	専用リモコンはボタンを長押し(3秒)する事で電源をON/OFFする事ができます。詳細については取扱い説明書を参照してください。
3.カードキー、タグキーもしくは専用リモコンを使って扉を解錠できるが施錠ができない。ピ音が5回鳴る	YES 扉が閉まっていないか枠または子扉のマグネットがずれています。	マグネット、ドアのチリ寸法を調整してください。(3/4 ■マグネット調整方法 参照)
4.カードキー、タグキーもしくは専用リモコンを使っての操作でサムターンが片方しか動かずエラー音(ピ音)が20回鳴る	YES 動かない方のサムターンのコネクタが接続されていません。	電動サムターンのコネクタの接続をやり直してください。(1/4、2/4 ■部品取付け手順 参照)
5.扉を開けた状態でもサムターンツマミおよびカギの操作により施錠/解錠すると重い	YES 電動サムターンに、建付けの異常等の負荷がかかってクラッチが外れた状態です。これは電動サムターンの故障ではありません。	建付け調整を実施し、カードキーもしくは専用リモコンを使って扉の施錠/解錠を行ってください。(3/4 ■建付け調整方法について 参照)
6.受信部のタッチボタン(ドアに付いているボタン)を押してもランプが光らない	YES CAZAS・簡易タッチの場合、電池が入っていないか電池の向きを2本以上間違えています。タッチ/ノータッチの場合、登録済みの専用リモコンが作動範囲内にある時しか光りません。	CAZAS・簡易タッチの場合、電池を入れ直してください。(2/4 ■電池の入れ方 参照) タッチ/ノータッチの場合、本体同梱の施工説明書をお読みになり、原因を特定してください。
<b>【タッチ/ノータッチ・簡易タッチキー】</b>		
1.専用リモコンを使って扉を施錠/解錠を行う事ができず、タッチ付電動サムターンのランプがつきっぱなしになる。又は全くつかない	YES タッチ付電動サムターンのコネクタを逆に接続しています。電池タイプの場合この状態は電池の消耗が激しくなります。	電動サムターンのコネクタの接続をやり直してください。(1/4、2/4 ■部品取付け手順 参照)
2.室内側からのみ専用リモコンの反応が悪い(作動距離が短い)	YES 同軸ケーブルのコネクタが最後まで接続されていません。	